

営農ウィークリーNEWS

向島小学校のお茶教室

学校茶園の栽培管理「施肥」



向島小学校では、地域産業を知る総合学習の一環で、JA京都中央向島茶業部会員の中西義明さんを中心として栽培管理、茶摘み、製茶などの工程を体験する様々な取り組みが行われています。

取り組みは今年で23年目になり、自分たちで育てることでお茶を身近に感じ、摘みたての美味しいお茶を味わってもらいたいという中西さんの思いから13年前に向島小学校内の花壇にお茶の樹が植えられました。

学校の茶園管理は、子どもたちの大事なお仕事！

10月7日に中西義明さんが施肥方法を伝授



今年は雨が長く続いた後、晴れて気温が上がり、気候の変動が激しかったので、向島小学校の茶園にも葉焼けや主幹が細い等の影響がみられました。

今回のお茶教室は栽培管理「施肥」で、小学3年生の児童が作業しました。茶の樹の周りに深さ15センチほどの穴をあけ、魚粕と油粕を混ぜた肥料を1人1穴ずつ手作業で入れていきました。

小学生には、これから月1回3月頃まで施肥をしてもらい、おいしいお茶の葉を育てていきます。

意外と簡単！
成長が楽しみ！



—TAC information—

向島事業センターに 鼠駆除用の粘着シートを設置



近年、温暖化とともに鼠が発生し、肥料袋をかじられるなどの被害が増加傾向にあります。これから京都米の収穫最盛期を迎え、産米検査場所としても活躍する向島事業センターの鼠被害防止対策として、10月4日に鼠駆除用の粘着シートを設置しました。

そして、昨日11日から向島事業センターでの米検査がスタートしました！

★ 果樹カメムシ類(チャバネアオカメムシ等) 情報 ★

予察灯・フェロモントラップへの誘殺が増えています。

ナシ(晩生)、カキ、カンキツ等では今後の発生に注意してください。



チャバネアオカメムシ クサギカメムシ ツヤアオカメムシ

発生状況

- (1) チャバネアオカメムシの予察灯(蛍光灯ブラックライト 20W、以下 BL20W)における誘殺数は、京田辺市及び亀岡市で平年比やや多く、京丹後市で平年比多くなっています(表1)。フェロモントラップでは、京田辺市は平年並で亀岡市及び京丹後市で平年比やや多くなっています(表2)。
- (2) クサギカメムシの予察灯(BL20W)における誘殺数は、京田辺市及び亀岡市で平年並、京丹後市で平年比やや多くなっています(表3)。
- (3) ツヤアオカメムシの予察灯(BL20W)における誘殺は、京田辺市では認めず(平年比やや少ない)、亀岡市及び京丹後市では平年並となっています(表4)。

表1 チャバネアオカメムシの予察灯(BL20W)への誘殺状況

場所	本年	平年値
京田辺市	20	9.0
亀岡市	36	16.7
京丹後市	410	95.2

※誘殺数：8月第5半旬～9月第4半旬の合計値

表2 チャバネアオカメムシのフェロモントラップへの誘殺状況

場所	本年	平年値
京田辺市	1.5	4.4
亀岡市	53.7	25.5
京丹後市	3.4	2.5

※誘殺数：8月第5半旬～9月第4半旬の合計値

表3 クサギカメムシの予察灯(BL20W)への誘殺状況

場所	本年	平年値
京田辺市	1	2.7
亀岡市	2	3.3
京丹後市	58	25.5

※誘殺数：8月第5半旬～9月第4半旬の合計値

表4 ツヤアオカメムシの予察灯(BL20W)への誘殺状況

場所	本年	平年値
京田辺市	0	3.3
亀岡市	2	3.4
京丹後市	9	15.0

※誘殺数：8月第5半旬～9月第4半旬の合計値

防除上の注意事項

- (1) 山林等の隣接園では、特に注意が必要です。カメムシ類は局地的に発生し、集中的な被害をもたらすことがあるので、園内外の成虫発生状況をこまめに観察し、発生を認めたら速やかに防除してください。
- (2) カメムシ類は、夜温が高く風の弱い日の日没頃に多く飛来します。
- (3) 合成ピレスロイド剤の連用は、ハダニ類やカイガラムシ類が多発する恐れがあるので避けてください。
- (4) 防除薬剤を使用する際は、収穫前日数等、使用基準を厳守してください。